

講座2 石狩川治水の歴史

明治期北海道開拓の大きな課題は石狩川の洪水被害だった。石狩川治水事務所の初代所長岡崎文吉は現地調査により石狩川の洪水水量を算出し、画期的護岸工法である単床ブロックの考案や根本的洪水対策として生振捷水路への道筋をつけ石狩川治水の元を築いた。異常気象の多発している現在、自然主義と合理性をあわせもった天才科学者岡崎文吉とその事績を学び、治水の重要性を改めて認識する。



明治42年頃の岡崎文吉



第1回「岡崎文吉とその事績について」

日時/4月27日(木)10:30~12:00

講師/山田 大隆(北海道産業考古学会会長)

第2回「石狩川治水について」～石狩川治水の歴史・現状・これから～

日時/5月11日(木)10:30~12:00

講師/北海道開発局札幌開発建設部札幌河川事務所職員

会場/石狩市花川北コミュニティセンター(花川北3条2丁目198 ☎ 0133-74-6525)

第3回「事績の残る茨戸川周辺を廻る」(見学学習バス利用)

日時/5月25日(木)9:00~12:30

講師/石狩川治水遺産研究会事務局長 安田秀司

集合場所/石狩市民図書館

バス乗車定員/30人(申込多数時カレッジ生優先の抽選)

※歩きやすい靴と服装で参加ください。

新型コロナウイルス感染防止のため、**マスクの着用**をお願いします。

◆申込み/締切 4月13日(木)

◆受講料/1回 カレッジ生 500円 一般 700円

第3回バス利用講座 カレッジ生 1,000円 一般 1,200円

◆申込み・問合せ/いしかり市民カレッジ運営委員会事務局(社会教育課内)

※ 電話での申し込みは平日(月~金)の9時~17時までをお願いします。

TEL/FAX: 0133-74-2249

※ ホームページ、FAXは土・日でも受付可能です。

いしかり市民カレッジ

検索